

2011年10月1日発行 第141号

おのころ 通信

聖隷淡路病院

〒656-2401

兵庫県淡路市岩屋38

TEL(0799)72-3636

FAX(0799)72-5071

ホームページアドレス

<http://www.seirei.or.jp/awaji/>

発行責任者 長田 裕

編集責任者 白井義隆

理念

聖隷精神(隣人愛)を継承し、
地域に根ざした医療・福祉に貢献する

第4回

淡路地区聖隷学会についてのお知らせ!!

今回で4回目となる淡路地区聖隷学会が今年も開催されます。学会のテーマは、第1回「Change」、第2回「創造」、第3回「発展」となっており、第4回となる今回は「連携」が選ばれました。一般の皆様にも公開させていただいていますので、是非お誘い合わせのうえ、大勢の方々のご来場をお待ちしております。

日時：平成23年11月26日(土)

時間：13:00~16:00

場所：岩屋保健福祉センター

学会テーマ：「連携」

※事前の申し込みは不要です。

当日、直接会場までご来場ください。

聖隷淡路病院
研修広報委員会

今日の!
トピックス!

エンゼルケア

今日の日本において8割以上の方が、病院で人生の最期を迎えられます。

与えられた命を全うされ、寿命を迎えられた患者さんに、家に帰るまでの身支度、退院の準備をさせて頂くことをエンゼルケアといいます。

私たちが大切にしていることは、亡くなった人と区別するのではなく、今までと変わらず「〇〇さん」という患者さんとして接することです。自宅に帰ってから、きっとたくさんの家族や友人がお別れに来るでしょう。今までとかわらない〇〇さんとして会えるように身支度をさせて頂きます。言いかえれば、家族や友人の記憶の中にある、〇〇さんの顔であって欲しい、そして顔や手に触れ十分お別れをして欲しいと思っています。

そのため、洗髪や顔のクレンジングマッサージや蒸しタオル後の化粧水、全身の指の先まで汚れを取り、ローションを塗り保湿することでお風呂上がりのような肌に近づけます。また、エンゼルケアはできるだけ家族と共にこない(もちろん家族の意向に添います)家族の記憶の中にある〇〇さんについて聴かせてもらい、元気だった頃のお顔に近づける様にメイクを施します。

自宅に帰る時の服も生前にご本人が準備していたものや、愛用していた服を着て帰られる方が増えてきています。着物やワンピースなどさまざまです。

家族と共にこなうエンゼルケアの場のほとんどが「自分の手でキレイにしてあげることができた。」ということや、昔話に花を咲かせ、笑いもありとても穏やかな時間になっています。家族にとっても、癒しにつながる貴重なケアと時間であると考えています。

(2病棟看護師 野口明子)



緩和ケア便り 第5通

当院の医療ソーシャルワーカーは、がん療養にかかわる助成制度や経済的問題、生活に関する悩みなどのご相談を承っております。お気軽にご相談ください。

医療相談室：島田勝弘・早川沙希 平日8:30~17:00 電話番号：0799-72-3640(直通)

緩和ケア相談窓口

相談場所：1F 医療相談室 ※電話相談も可能です

相談日時：毎週木曜日(8時半~16時) 担当者：看護師 野口明子

診察をご希望の方は、外来受診：月・水・金曜日(午前中) 黒田医師担当外来へお越し下さい。